

コロコロ研修 特集

いわき育成園でコロコロメン
ツドを展開するようになり、
気がつけばすでに三年の歳月
が経ちました。コロコロとの出
合いにより、日々変化を遂げ
ていく利用者の皆さんを見て
いること、それは私たち支援
者にとって最も励みになる瞬
間であると実感しています。
今回この「ゆうゆう」への寄
稿にあたり、コロコロというも
のをいかに分かり易く的確に、
そして決められた文字数の中
でどう伝えるか、実はそこが
一番の悩みどころになってい
る訳です。

まずは、コロコロがどんなと
ころか説明をしなければ話は
始まりません。「コロコロとは「小
露路」と書き「小さな露がい
ずれ大きな路を作る」という
意味で、一九八三年に石井聖
氏によって設立された小露路
治療教育研究所がその始まり
です。発達を促す独自の療育
方針を打ち出し、一般的に困
難とされている自閉症などの

認知障がい者への集団療法を
実践しているのが特徴です。
現在ではコロコロE.Tセンター
が母体となり、全国にコロコ
ロメンツドの普及を図るべく各
地に教室を展開させていま
す。また、この療育法を一般
に広めるための集団療法士
(Group dynamics Therapist)
及び学習療育士 (Learning
Therapist) の資格が制度化
され、コロコロメンツドの指導
者には「GT・LT資格認定
委員会」から資格が授与され
ています。

次は、実際にどんな活動を行
うのか説明したいと思いま
す。一言で言うとならば、不
適応行動の改善を図る取り
組みです。私たちの脳は様々
な情報を整理し、生きるため
に必要な指令を出す仕組みに
なっています。しかし、自閉
症や知的障がいのある方は、
脳内の情報処理能力が正常に
発達していないため、不適応
行動が発生し易くなっていま



す。このような先天的脳障がい
は、既に一九六〇年代から
マイケル・ラターにより提
唱されており、今日の自閉症
研究の主流になってきている事
は言うまでもありません。コロ
コロメンツドとは、歩行トレ
ーニングやダイナミックリズム
による全身運動で脳の活性化
を図り、脳幹という原始的な
運動を司る領域での活動か
ら、より高等な活動領域であ
る大脳新皮質などの脳を鍛え
るためのプログラムなので
す。



この三年間の取り組みは、
いわき育成園の職員に様々な
発見と共感を与えてくれまし
た。初めてダイナミックリス
ムを行ったときの彼等との一
体感！忘れることのできない
新鮮な感動が会場を包んだあ
の日の事も、学習支援で初め
て課題が解けた瞬間の表情
も、歩行トレーニングで一緒
に汗だくになって歩いた道の
りも、その全てが私たち支援
者の喜びとなり、また、彼等
の成長を物語る歴史でもある
と感じています。これからも、
この取り組みを通して利用者
の皆さんと共感し、様々な可
能性を見出していきたくと思
っています。

未来

寒い：今年の冬はこの言
葉を何回言っただろう？足
の指先がビリビリする感覚
は久しぶりだ。思えば、私
は小さい頃、もっと雪の降
るところに住んでいたのだ
が、思いつきり雪合戦で遊
んだり、雪だるまを作った
りともっと雪が降っていた
ような…。最近では暖かい冬
が続いていたので、久しぶ
りの感覚に身の引き締まる
思いだ。

自分も年を取ったのか過
去と現在を比べてしまうこ
とが多いこの頃、「昔はよ
かったな」と懐かしんで
ばかりもいられない。今の
現状を受け入れて、仕事も
生活もしていかななくては
ない。

寒い冬もあと少し。もう
そこまで暖かい春の足音が
聞こえていますよ。



いわき育成園
神永 聡さん

おめでとう!



いわき希望の園
東海林慎也さん
鈴木翔太さん
鈴木藍子さん



いわき光成園
岩下 和美さん

祝 成人



皆さん「おいしそつ」春らしい
……と大変喜んで下さいました。
3月3日(月)暖かな日差しの中、
学園・光成園利用者計4名が
下船尾地区の一人暮らし高齢者
宅を訪問しました。節句にちなん
だ特製ちらし弁当と学園納豆「い
わきさわやかまごころ一番」をお
届けしました。

いわき
学園

一人暮らし 高齢者宅訪問

愛の事業団

この度、いわき育成園
が、財団法人福島民友愛の
事業団「心身障害児者の療
育研究に対する助成」に申
請しておりました助成金
(15万円)が決定致しまし
た。
これは、コロコ・メソッ
トによる不応行動改善
プログラムの実践をテー
マに、自閉症及び発達障
がい者への療育と研究を行
う為のものです。
有難うございました。

更衣室完成

この度、いわき光成園の
浴室のリフォームを行な
い、更衣室として生まれ変
わりました。



貴社の福祉に対 する深いご理解 と社会貢献活動 に感謝致します

県遊技業協同組合連合会関連
平成20年2月20日



ヤクルト本社東北支店様

いわき学園に年賀企画の配分金 4 万円を頂きました

同連合会と共同で初の年賀企画(年賀シール付ヤクルト飲料
水をホールで販売・年賀シール貼作業を福祉施設に委託)を
実施。いわき学園を含めた県内4施設が作業に従事し、手間
賃を超える額の配分金の寄贈を頂く。

株式会社中原商事(つばめグループ)様

いわき学園に年賀企画品販売収益金27万7千800円を頂きました

同組合理事長・中原商事代表取締役の禹氏が同連合会の活
動に賛同。ホール 10 店舗でヤクルト製品を販売した収益金
額の寄贈を頂く。

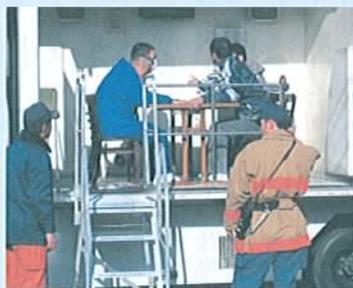
頂戴いたしましたご厚情は、日々の障がい者支援の中で十分に活用
させて頂きます。ありがとうございました。

いわき市の2つのイベントで 片寄一樹さんの「敬老記念品」メッセージカード 穂積友美さんの「障がい者の日記念行事」ポスター にそれぞれ採用になりました!!



起震車来る!!

1月18日、実際の地震
と同じ揺れを体験できる
起震車がいわき育成園に
やってきました。
実際に揺れる中で避難
訓練・普段では体験でき
ない、貴重な体験をする
ことができました。



編集後記

春めいたかと思うと、ま
た冬に逆戻りの日々が続
き、本当の春が待ちどおし
い今日この頃です。
「ゆうゆう」も、今年度は
最後の発行となります。
一年間、ご愛読いただき
ありがとうございました。
これからも、最新の情報・
楽しい内容をお伝えして
いきたいと思えます。